

ITOSUGI

いとすぎの丘



オープンキャンパス



いとすぎ祭

オープンキャンパス 2018

Pick
Up



7月21日(土)と8月17日(金)の2日間オープンキャンパスを開催しました。多くの方がご来場され、模擬授業体験など赤十字の看護に触れていただきました。個別相談コーナーでは、学生の目線から受験や学生生活について直接、お話をさせていただいたこともあり、とても好評でした。



体育祭

■ 大学行事

いとすぎ祭
体育祭
赤十字防災ボランティア研修
オープンキャンパス2018

■ 学生生活

新入生合宿研修
英国語学研修
国際救援看護論実習
RCT☆LINK

■ 大学の活動

豊田市高等教育
活性化推進プラットフォーム
公開講座「自分のからだを知ろう
～宮口一色健康測定会～」
後援会の活動

■ Information

いとすぎ祭

誰もが楽しめるいとすぎ祭

実行委員長 3年 上平 理奈

第15回いとすぎ祭は、「全力で」という意味が込められた「Full Force!」というテーマのもと行われました。今年のとすぎ祭では、高橋美久先生と木村尚美先生による精神疾患について詳しく知ることが出来るご講演や、大人気お笑い芸人のひよっこりはんさん、8.6秒バズーカーさんによるお笑いライブが開催されました。また、毎年ご好評を頂いている赤十字ならではの企画であるヘルスチェックや献血、炊き出し、精神状態チェックと誰もが楽しめる模擬店やのど自慢、コ



ンテスト（日赤ミスターコン、ミスコン、ベストフレンドコン）などの企画と、各サークルによる催し物などがありました。今年にはこれらに加えて装飾にも力を入れ、校内をより一層華やかな雰囲気仕上げました。これらの講演会やお笑いライブ、様々な企画など、充実し幅広い年齢層の方々が楽しめるようないとすぎ祭となりました。

今回いとすぎ祭を開催するにあたり先生方や学生、企業の皆さん、地域の方々にご協力を頂き感謝いたします。来年度以降のいとすぎ祭も毎年のように学生一人ひとりの力を合わせより良いものを作り上げ、地域に愛され来場者の方々や学生の思い出に残るような誰もが楽しめるいとすぎ祭になることを期待しています。

体育祭

体育祭を終えて

実行委員長 3年 中山 優菜

先輩たちが作り上げてきた体育祭を引き継いだとき、去年を超える体育祭を目指したいと思う反面、去年が充実しすぎていたため超えられるものが作れるかという不安を感じました。

今年度の体育祭参加者は去年の影響もあり、例年を上回る参加人数でした。期待されてることにプレッシャーを感じつつ、慣れないことばかりでしたが体育祭が終

わったとき後悔しないよう当日に向けて着々と準備を進めていきました。

事前にもどのような準備をしなければならないのか分からず手探りの状態で、そんなとき支えてくれたのは副委員長をはじめとする3年生や1.2年生そして4年生の先輩方でした。頼りになる委員のみんながいてこそ今年度の体育祭だったと思います。正直終わったとき私はやり遂げたことにいっぱい楽しんでもらえていたのかわかりません。しかし、来年も参加したい！と思ってくれる後輩が少しでもいてくれたら嬉しいです。



「玉入れ」



「バレーボール」

赤十字防災ボランティア研修

赤十字防災ボランティア研修に参加して

1年 加藤 幸乃

6月23日に赤十字防災ボランティア研修に参加しました。日本赤十字社の災害救護活動や防災ボランティアなどの講義を聞き、演習を行いました。演習では、テントの設営や無線を使った実習、担架や毛布を使った搬送、周囲に道具がない状態での搬送や三角巾を用いた応急手当を行い、赤十字の救護を学び、お昼には炊き出しを行いました。特に印象に残った演習は、周囲に道具がない状態での患者の搬送です。複数の救護者でヒューマンチェーンというものを作ることで、人の体を用いて患者を搬送することができるということを学びました。赤十字では、患者のことを第一に考え、少しでも早く救護できるように務めているということを知ることができました。災害はいつ発生するかわかりません。ですが、赤十字

防災ボランティア研修で学んだ知識や技術を活かすことができれば、一人でも多くの人の命を救うことができるということがわかりました。



オープンキャンパス2018

オープンキャンパスに参加して

4年 小口 遼

7月21日に行われたオープンキャンパスに、母性看護学領域の学生スタッフとして参加しました。当日は、母性看護学の実習室で赤ちゃんの人形を使用して、入浴（沐浴）のデモンストレーションを行いました。男子学生も母性看護学の授業や実習を行っています。まだまだ男性が育児にかかわることが「イクメン」と呼ばれる特別なことになっていますが、男子学生が母性看護に携わっている場面を見てもらうことで、性別に関



「沐浴」



「ハートラちゃんとの記念撮影」

係なく母性看護に関わることができるのが高校生や保護者の方に伝わると嬉しいと思いました。

大勢の人の前でデモンストレーションを行うことは緊張しましたが、高校生や保護者の方に興味深そうに見ていただけたので、この大学での学びについて具体的なイメージを持って頂けたと思います。このオープンキャンパスを通して、日本赤十字豊田看護大学に興味を持っていただけたらと思いました。

新入生合宿研修

あこがれの赤十字

1年 竹中 麻衣

4月19日から20日の2日間にかけて新入生合宿研修がありました。

1日目は明治村で赤十字の歴史について触れるために日本赤十字社中央病院棟を見学しました。最初は、ぎこちなかったですが、グループに分かれて散策をしていくうちにグループの子と仲を深めることができました。宿泊先のあいち健康プラザでは、「大学生活をより充実させるためにはどうするか」というテーマのもとグループワーク、発表を行いました。学年全員が同じ目標である看護師になるという夢に向かって、これから先の大学生活をどのように過ごすか改めて考える良いきっかけになりました。また、違うグループの意見や四年生の先輩方の意見も聞いて視野を広げることができました。四年生の先輩が企画したレク

リエーションや様々なゲームを行い、たくさんの人と話すきっかけとなりました。新しい友達も沢山でき、充実した2日間を送ることができました。



英語学研修

語学研修を通して世界が広がった3週間

2年 田中 萌絵

夏季休暇中の3週間を利用して、イングランドの南西部にあるプリマスという港湾都市でホームステイをしながら、英語の勉強と現地の施設を訪問しました。

平日の午前中はメイフラワーカレッジで、英語を学びました。クラスは4~8人と少なく、フランスやスペイン、サウジアラビア等様々な国の友人と互いの意見を述べながらの多文化に触れる貴重な学びが出来ました。午後からはプリマスの大学や英国赤十字社、病院、施設の見学をしました。その中で日本との相違点の発

見、文化やイギリスが抱えている問題点など興味深く考えさせられました。

カレッジの先生やホストファミリーはとてもフレンドリーでたくさん私に話しかけてくれました。そのおかげで帰国前にはホストファミリーやクラスメイトと会話を楽しむことが出来ました。今回の研修では英語という言葉を用いて、他国の人たちとコミュニケーションがとれたことはとても嬉しく今後の私の世界を広げてくれました。



将来、医療従事者として関わる人の中には日本語が話せない人もいます。伝えたいことが伝わらないことはとても不安になります。今回の経験を活かしこのような人たちを支援できる看護師になりたいと強く思いました。

今回実りある研修ができたことは、引率の先生をはじめ、現地の方々の温かい支援のおかげだと思います。心より感謝します。また機会があれば皆さんの後輩にもぜひ経験してもらえたらと思う研修でした。

国際救援看護論実習

国際救援看護論実習でみた地域への活動

3年 山路 理華

8月26日から9月2日の期間に国際救援看護論実習に参加させていただきました。本実習ではタイ王国とミャンマー連邦共和国を訪れ、各国赤十字社や看護大学、血液センター、JICA、総合病院などの見学をする機会をいただきました。



学んだことは多くありますが、地域におけるボランティアの役割の重要性については特に印象に残っています。ミャンマーで行われているプロジェクトでマラリア排除に関するものがあり、都市から離れた地域でのヘルスボランティアを養成しています。ヘルスボランティアはマラリアの診断を行い、早期発見をして治療へつなげていくという大きな役割を果たしていることを知りました。地域の人々が知識や技術を習得し、伝え・実践し・広げていくことで、専門職の力だけでなく、その地で生活する人々がその地における課題や困難を協力して乗り越えていく一つのきっかけとなることがわかりました。

実習では、専門家やヘルスボランティア経験のある方など現地で活動されている方々から直接お話を伺う機会がたくさんありました。これらの学びは、実際に現地へ行ったため得られたもので貴重な体験となりました。

RCT☆LINK

つながり
縁

2年 西川 玖美

私が看護大学に入りたいと思ったきっかけは、小学校6年生の時に起きた東日本大震災でした。

私がこの大学を知ったのは、高校の担任の先生がふと「日赤いい大学なんだけどなあ。」とつぶやいた時でした。

入学後のサークル紹介の時に災害に関するサークル（災害支援サークルDMAC）があることを知りました。このサークルは災害について学びを深めます。今、私はこのサークル長を務めていて、とてもやりがいを感じています。メンバー全員が同じ目標をもってはいても、意見が食い違うことも多くまとめることはとても大変ですが、自分が考えていなかった意見を聞く機会が増えるので考えの視野が広がります。そして、協調性を持ち、全体を俯瞰する力がついてきました。

受験生だった頃は、日赤のことをあまり知らなかったのですが、今こうして医療職になりたいと思ったきっかけである災害のことを災害に特化している赤十字の元で学ぶことができ、また、将来看護職になる身



として必要な力もサークルなどを通して培っていていると思います。そして、日赤に入学するまでも多くの人に背中を押してもらい、そして入学してからも、助け合える同級生、優しく、助言してくださる先輩方、そして、相談や質問などを親身に聴いてくださる先生方のお陰で毎日充実した生活が送れています。これらも何かの『縁（つながり）』だと思い、大切に、夢に向かって頑張っていきたいと思っています。

次回 RCT☆LINK

⇒ 2年 廣地 摩樹 さん

豊田市高等教育活性化推進プラットフォーム

豊田市高等教育活性化推進プラットフォーム

野口 真弓

(日本赤十字豊田看護大学 ヘルスプロモーションセンター長 豊田市高等教育活性化推進プラットフォーム運営会議メンバー)

文部科学省は、高等教育の質向上と特色ある教育のために、私立大学等総合支援事業を行っています。平成29年度から、複数大学間の連携および自治体や産業界等との連携を進めるプラットフォーム形成も加わりました。そこで、本学は中京大学、愛知工業大学、豊田工業高等専門学校と「豊田市高等教育活性化推進プラットフォーム」を形成して応募し、選定されました。

この事業の一環として、「健康になる生活習慣・運動習慣」という公開講座を、平成30年6月9日に豊田市

福祉センターで、豊田市社会福祉協議会、中京大学と共催しました。講座の内容は、本学の森田一三教授の「歯や口が健康になる生活習慣」と中京大学の渡邊丈真教授の「スポーツと健康」の講演で、愛知県豊田市が8020運動の発祥の地であること、人と人の社会的つながりがあると死亡率やむし歯の罹患率が低下すること、先進国ではスポーツによる健康増進効果があるなど、非常に興味深いものでした。



「歯や口が健康になる生活習慣」



「スポーツと健康」

公開講座「自分のからだを知ろう～宮口一色健康測定会～」

宮口一色健康測定会を実施して

公衆衛生看護学 准教授 大谷 喜美江

宮口一色健康測定会は、本学のヘルスプロモーション事業の1つです。公衆衛生看護学・在宅看護学領域の教員と学生ボランティアが宮口一色区民会館におうかがいして、血圧や骨量などの健康測定、ミニ講座、体操などを行います。平成28年度から継続的に実施しており、今年度は6月30日に開催しました。

学生ボランティアは、日赤豊田学生つばめ隊（嚥下・呼吸機能の向上につながる「つばめ体操」を普及

するグループ）の2・3年生のメンバーで、当日は健康測定や「つばめ体操」を担当しました。最初は「緊張する」と話していた学生たちも、参加者の方と触れ合うなかで徐々に笑顔となり、地域の方から様々なお話を聞くことができました。

参加者の方々からは、楽しく参加できた、体を動かして気分が良かった、説明が分かりやすかったとの声をいただいています。

地域の皆様との触れあいの大切さを改めて実感した一日となりました。



「骨量測定」



「嚥下機能(飲み込みの機能)強化運動『つばめ体操』」

後援会の活動

平成30年度後援会 会長挨拶

後援会 会長 堀江 弘恵

日頃は後援会活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

今年度の後援会活動を簡単にご紹介いたします。

まずは、第15回いとすぎ祭開催支援の助成を自治会援助費から行いました。又、後援会事業費より精神看護学教育資材の助成を行いました。5月の総会后に、今年度は2回目となる保護者と教員との交流会が行われ、29世帯のご参加をいただきました。教員からの講義内容や活動の様子を拝聴しましたが、大学生活を垣間見る事ができ、保護者といたしましても安心しました。交流会後に行われたチューター教員との個別面談は具体的な話ができ、とても有意義でした。4月より大学生協も設立され、学生生活がより良い環境に整えられ感謝申し

上げます。充実した大学生活となる様、後援会も精一杯貢献させていただき所存です。今後とも皆様のご理解、ご協力を宜しくお願いいたします。



「保護者と教員との交流会」

試験の種類	募集人員	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間	選 抜 方 法 (科目等、配点) ※1
一般入学試験 ※2	40名	平成31年 1月4日(金)～ 1月24日(木) 必着	平成31年 2月2日(土)	平成31年 2月12日(火)	平成31年 2月13日(水)～ 2月21日(木)まで	【必須科目】 国語総合(古文・漢文を除く) (配点:100点) 英語I・英語II (配点:100点) 【選択科目】※3 (配点:1科目100点) 次の①、②、③から1つを選択 ① 数学I・数学A ② 化学基礎・化学 ③ 生物基礎・生物
大学入試センター試験 利用入学試験 (前期A)	8名	平成31年 1月4日(金)～ 1月24日(木) 必着	平成31年 1月19日・20日 本学での個別試験 は実施しません。	平成31年 2月12日(火)	平成31年 2月13日(水)～ 2月21日(木)まで	【必須科目】 国 語 (近代以降の文章) (配点:100点) 英 語 (英語リスニングを除く) (配点:200点満点を100点満点に換算) 数学I・数学A (配点:100点) 【選択科目】理 科 (配点:1科目100点) 生物基礎・化学基礎・物理基礎・地学基礎から2科目 又は 生物、化学、物理、地学の中から得点が高いもの1科目
大学入試センター試験 利用入学試験 (前期B)	7名	平成31年 1月4日(金)～ 1月24日(木) 必着	平成31年 1月19日・20日 本学での個別試験 は実施しません。	平成31年 2月12日(火)	平成31年 2月13日(水)～ 2月21日(木)まで	【必須科目】 英 語 (英語リスニングを除く) (配点:200点) 【選択科目】①～⑦から得点が高いもの1科目 ①国 語 (近代以降の文章) ②数学I・数学A ③生物基礎・化学基礎・物理基礎・地学基礎から2科目 ④生物 ⑤化学 ⑥物理 ⑦地学 (配点:100点)
大学入試センター試験 利用入学試験 (後期)	3名	平成31年 2月13日(水)～ 2月21日(木) 必着	平成31年 3月2日(土)	平成31年 3月12日(火)	平成31年 3月13日(水)～ 3月20日(水)	【必須科目】 英語(英語リスニングを除く) (配点:100点) 面接 (配点:50点) 【選択科目】 ①国 語 (近代以降の文章) 又は 数学I・数学Aのうち得点が高いもの (配点:100点) ②生物基礎・化学基礎・物理基礎・地学基礎から2科目 生物、化学、物理、地学の中から得点が高いもの1科目(配点:100点)

※1. 試験時間は、面接を除き各60分です。 ※3. 「数学A」の出題範囲は「場合の数と確率」及び「図形の性質」となります。
 ※2. 英語の外部検定試験で一定のスコアを取得していれば3点加算となります。 注: 出願の際に必ず募集要項で確認して下さい。

平成30年度公開講座(下半期)

領 域	日 時	講 座 名	内 容
精神看護学	平成30年12月8日(土) 14:00～16:00	第2回こころの健康づくりシンポジウム～健康と病と芸術～	「健康と病と芸術」をテーマに、こころの健康と芸術のつながりについて、医学・工学・看護・音楽(バイオリン演奏)という異分野のコラボレーションから体験的に学びます。
赤十字・災害看護学	平成31年2月16日(土) 10:00～11:00	AEDを知ろう	身近にあるAEDを知り、もし緊急時に遭遇した時の対応を考えます。
公衆衛生看護学・在宅看護学	平成31年2月中旬頃	高齢者の健康づくり宮口上区または一色地区	地域で健康に暮らし続けられるよう、日々の生活に役立つ健康講座や誤嚥予防の体操などを行います。
成人看護学	平成31年3月8日(金) 10:00～12:15	転倒予防～運動器症候群(ロコモティブシンドローム)について知ろう～	ロコモティブシンドローム(通称ロコモ)についての説明、自己評価(ロコモ度テスト)、ロコモを防ぐ運動(ロコトレ)の紹介をします。
老年看護学	平成31年3月11日(月) 10:00～11:30	手軽にできる認知症ケア～家族で回想のすずめ～	認知症についての理解を深め、家族でできる回想の効果や方法についてお伝えします。

平成29年度 事業活動収支計算書

平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日

■事業活動収入の部 (単位:円)				
区分	科 目	予算額	決算額	差 額
教育活動収入	学生生徒等納付金	923,268,000	918,182,000	5,086,000
	手数料	26,085,000	18,718,760	7,366,240
	寄付金	3,235,000	3,554,512	△ 319,512
	経常費等補助金	117,810,000	171,517,168	△ 53,707,168
	付随事業収入	0	379,750	△ 379,750
	雑収入	5,151,000	6,548,565	△ 1,397,565
	内部取引	7,111,000	3,690,929	3,420,071
教育活動収入計		1,082,660,000	1,122,591,684	△ 39,931,684
教育活動外収入	受取利息・配当金	11,405,000	14,431,579	△ 3,026,579
	その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計		11,405,000	14,431,579	△ 3,026,579
特別収入	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	250,000	2,476,054	△ 2,226,054
特別収入計		250,000	2,476,054	△ 2,226,054
事業活動収入計		1,094,315,000	1,139,499,317	△ 45,184,317

■事業活動支出の部 (単位:円)				
区分	科 目	予算額	決算額	差 額
教育活動支出	人件費	664,340,000	637,033,342	27,306,658
	教育研究経費	424,924,000	354,822,609	70,101,391
	管理経費	41,636,000	82,916,404	△ 41,280,404
	内部取引	16,773,000	17,907,999	△ 1,134,999
	教育活動支出計	1,147,673,000	1,092,680,354	54,992,646
教育活動外支出	借入金等利息	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計		0	0	0
特別支出	資産処分差額	0	1,799,153	△ 1,799,153
	その他の特別支出	0	0	0
特別支出計		0	1,799,153	△ 1,799,153
事業活動支出計		1,147,673,000	1,094,479,507	53,193,493
基本金組入前当年度収支差額		△ 53,358,000	45,019,810	△ 98,377,810
基本金組入額合計		△ 137,761,000	△ 88,355,305	△ 49,405,695
当年度収支差額		△ 191,119,000	△ 43,335,495	△ 147,783,505

平成29年度の財務状況は、パソコンの更新整備、教育環境維持向上基金創設に伴う第3号基本金への組入れにより、191,119千円の支出超過予算でしたが、私立大学等経常費補助金「改革総合支援事業」においてタイプ1(教育の質向上)、タイプ2(地域発展)およびタイプ5(プラットフォーム形成)に採択されたことにより補助金収入の増加、人件費支出および基本金組入額の減少により、当年度支出差額は43,335千円の支出超過となり、147,784千円圧縮することができました。

平成30年度新任教員

学術情報センター・図書館長・教授 下間 正隆 専門基礎

編集後記

地震・台風と、この夏は多くの自然災害が発生しました。未だに多くの方が避難生活を送られていると思います。1日も早い復興をお祈り申し上げます。

7月・8月のオープンキャンパスには、多くの方々にご参加いただき、ありがとうございました。いとすぎの丘vol.28では、新入生合宿研修、オープンキャンパス、いとすぎ祭、英国語学研修など、多くのイベントについて特集しております。生き生きとした学生の姿が伝わりましたでしょうか。ご執筆をお引き受けくださった皆様に感謝申し上げます。

これからも、大学の取り組みや活動など発信していきたいと思っております。皆様からのご投稿もお待ちしております。

いとすぎの丘 Vol.28

発行日/2018年11月

編集・発行/日本赤十字豊田看護大学

入試・広報委員会、企画・地域交流課

〒471-8565 豊田市白山町七曲12-33

TEL 0565-36-5228 FAX 0565-36-5256

E-Mail kikaku-ka@rctoyota.ac.jp

HP http://www.rctoyota.ac.jp/